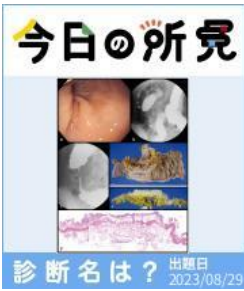


トップ > ニュース > 医療一般 >



人気記事ランキング

週間	月間
----	----

1 筋トレは方法次第で1日3秒、週3日で効果あり!?
医療一般 日本発エビデンス

2 HIVはコンドーム無しのセックスでもうつりませぬーHow low vir...
CLEAR!ジャーナル四天王

3 飲酒で発症リスクが上がるがん、下がるがん～女性80万人の前向...
医療一般

4 高血圧への第1選択としての利尿薬vs.他の降圧薬～コ克蘭レビ...
医療一般

5 新型コロナ「エリス」がすでに来ている！現場から木曜日

6 ワクチン接種者でCOVID-19が重症化しにくいのはなぜか
医療一般

7 水断食、減量効果はあるが...
医療一般

8 すでに老化した脳を若返らせる因子を発見
バイオの火曜日

9 レカネマブ承認へ、医療者を待ち受ける5つの関門
ハズった金曜日

10 陥入爪で歩行困難、応急処置は？一目でわかる診療ピフオーアフター

医師閲覧ランキング

白血球高値は高LDL-C血症の独立したリスク因子—国内の縦断的研究

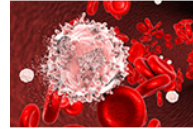
提供元：HealthDay News



ツイート

公開日：2023/08/29

白血球数が高いことが、悪玉コレステロール（LDL-C）が高いこととの独立したリスク因子であることを示すデータが報告された。福岡大学医学部衛生・公衆衛生学教室の奥津翔太氏、有馬久富氏らの研究結果であり、詳細は「Scientific Reports」に5月22日掲載された。



高LDL-C血症は心血管疾患（CVD）の確立されたリスク因子であり、LDL-Cを下げることでCVDリスクが低下することも、確固たるエビデンスにより支持されている。LDL-C上昇につながる要因としては、加齢、肥満、運動不足、トランス脂肪酸の過剰摂取などが知られている。近年、これらに加えて白血球数が高いことも、LDL-C上昇と関連がある可能性が報告されているが、いまだ明確になっていない。奥津氏は、一般住民の健診データを用いた縦断的研究により、この点について検討した。

解析には、長崎県壱岐市で行われたアテローム性動脈硬化症と慢性腎臓病に関する疫学調査（ISSA-CKD研究）のデータを用いた。2008～2017年の間に健診を2回以上受けていて、縦断的な解析が可能な30歳以上の人のうち、ベースライン時（初回の健診時）に高LDL-C血症でなく、白血球数などのデータ欠落のない3,312人を解析対象とした。なお、高LDL-C血症はLDL-C140mg/dL以上または脂質低下薬の処方と定義した。

平均4.6年の追跡で698人が高LDL-C血症を新たに発症。1,000人年当たりの罹患率は46.8だった。ベースラインの白血球数の四分位数で4群に分けると、第1四分位群は1,000人年当たり38.5、第2四分位群は47.7、第3四分位群は47.3、第4四分位群は52.4であり、白血球数が高いほど高LDL-C血症の罹患率が高いという有意な関連が認められた（傾向性P=0.012）。

次に、解析結果に影響を及ぼし得る因子（年齢、性別、喫煙・飲酒・運動習慣、肥満、高血圧、糖尿病）の影響を調整後、第1四分位群を基準として他群の罹患率を比較。すると、第2四分位群は非有意ながら〔ハザード比（HR）1.24（95%信頼区間0.99～1.54）〕、第3四分位群〔HR1.29（同1.03～1.62）〕と第4四分位群〔HR1.39（同1.10～1.75）〕は有意にハイリスクであり、ベースラインの白血球数と高LDL-C血症罹患率との間に、粗解析と同様、有意な正の関連が認められた（傾向性P=0.006）。

続いて、年齢（65歳未満/以上）、性別、肥満の有無、喫煙・運動習慣の有無、糖尿病の有無で層別化して解析。その結果、いずれについても交互作用は非有意であり、白血球数と高LDL-C血症罹患率との正の関連は、一貫したものであった。

以上より論文の結論は、「日本人の一般成人において、白血球数が高いことと高LDL-C血症リスクの高さとの関連が認められた」とまとめられている。著者らによると、白血球数と高LDL-C血症との関連を示すエビデンスはこれまで主としてアジア人を対象とする研究から示されてきていて、その理由として「食習慣の違いなどによって、アジア人は欧米人より総じて炎症レベルが低いことが関与している可能性がある」としている。ただし、この点の確認のために多くの人種/民族での同様の研究が必要とされ、また、白血球数が高いことを根拠とする治療介入の強化がCVD転帰の改善に結びつくのかという点も、今後の研究課題として挙げている。

[2023年8月7日/HealthDayNews] Copyright (c) 2023 HealthDay. All rights reserved. [利用規定はこちら](#)

原著論文はこちら

医師紹介キャンペーン

7,000pt 期間限定

紹介はかんたん!

詳細はこちら >

CareNet 医学教育



中立的・科学的な
臨床医学情報を配信



Okutsu S, et al. Sci Rep. 2023;13:8292.

掲載内容はケアネットの見解を述べるものではありません。(すべての写真・図表等の無断転載を禁じます。)

関連記事



寄せられた疑問に答える、脂質異常症診療ガイド2023発刊／日本動脈硬化学会

医療一般 (2023/08/15)



相補的に血中LDL-Cを低下させる高コレステロール血症薬「リバゼブ配合錠LD/HD」【下平博士のDIノート】第118回

下平博士のDIノート (2023/04/04)



冠動脈疾患の一次予防に関する診療ガイドライン、11年ぶりに改訂／日本循環器学会

医療一般 (2023/03/14)

このページを印刷する

ツイート

【最新ニュース】



看護師による簡易型睡眠制限療法が、不眠症に有効／Lancet
(2023/08/29)



オミクロン感染した高齢者、再感染リスクが高い!?
(2023/08/29)



レビー小体型認知症のパーキンソニズムに対するゾニサミド補助療法
(2023/08/29)



頻繁な入浴で長期的な抑うつリスク低減
(2023/08/29)



ビタミンD、p53免疫反応性の消化管がんの再発/死亡を抑制
(2023/08/29)



PCI後のステント血栓症、P2Y12阻害薬＋コルヒチンで減少～MACT Pilot Study
(2023/08/29)



画像技術により前立腺がん放射線治療の安全性が向上か
(2023/08/29)